

A区分・C区分共通
No.1(実演芸術・メディア芸術)

令和6年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(実演芸術・メディア芸術 共通)

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	演劇	種目	ミュージカル
----	----	----	--------

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分
------	-----

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

複数申請の有無	有	申請総企画数	4企画
---------	---	--------	-----

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しても、複数の企画を実施可能
--------------------	--------------------------

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	ゆうげんがいしゃそうごうげきしゅうだんはいゆうかん	団体ウェブサイトURL	
	有限会社総合劇集団俳優館		
代表者職・氏名	代表取締役・森釦		
制作団体所在地	〒 460-0008	最寄り駅(バス停)	名古屋市営地下鉄伏見駅
	愛知県名古屋市中区栄1-22-17 2階		
電話番号	052-203-8721		
ふりがな 公演団体名	そうごうげきしゅうだんはいゆうかん	団体ウェブサイトURL	
	総合劇集団俳優館	https://hiyoucantk.wixsite.com/hi-you-can	
代表者職・氏名	劇団代表・森釦		
公演団体所在地	〒 460-0008	最寄り駅(バス停)	名古屋市営地下鉄伏見駅
	愛知県名古屋市中区栄1-22-17 2階		
制作団体 設立年月	1986年2月		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	代表取締役 森釦 取締役 祖川詩織 取締役 平田美帆 芸術顧問 ふじたあさや	団体構成員 12人(正会員)、客員5人 加入条件等 劇団総会の審議を経て役員会が入団を適当と認めた者	
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	事務(制作)専任の担当者を置く	本事業担当者名	森釦
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者名	夏目みほ
本申請にかかる連絡先 (メールアドレス)	ttm-mr@ss.ijj4u.or.jp		

<p>制作団体沿革</p>	<p>1986年2月総合劇集団俳優館として発足。1990年3月法人化、有限会社総合劇集団俳優館。 1990年6月、公益社団法人日本劇団協議会に加盟。1997年5月、日本児童青少年演劇劇団協議会(現協同組合)に加盟。 2001年3月、東京都優秀児童演劇賞奨励賞受賞(ミュージカル「ムクバクとチチャねこ」)作品賞。 2003年度、愛知県文化芸術文化選奨文化賞受賞(森釦、児童劇ミュージカルの脚本と制作)。 2011年度、松原英治・若尾正也記念演劇賞受賞(森釦、新劇100年企画連続公演)</p> <p>(主な作品)さんしょう太夫／カレーライス物語／ガラスのうさぎ／ごきげんなすてご／ムクバクとチチャねこ／*雨ニモマケズ／*ねこはしる／どん底／アンデルセンものがたり／新劇100年企画Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ／はだしのゲン／三人姉妹／世界どうぶつ会議／ブルーストッキングの女たち／ヘルン氏のこわいかこわくないかわからない話／アラビアン・ナイト／賢治のドリームランドにつぼん／群青～雲ながれる果てに～／こぶとりじいさん、手袋を買いに／出雲の阿国／ヘンゼルとグレーテル／夏の夜の夢／*あらしのよるに／森は生きている／コーカサスの白墨の輪／ブンナよ、木からおりてこい／かもめ／修羅マクベス夫人／あらしのよるにnew ver.／會津わが町流流譚／沖繩・戦世の伝説～石になった少女～／裸王</p> <p>*印 文化庁「本物の舞台芸術体験事業」作品 「雨ニモマケズ」平成15,16年度、「ねこはしる」平成18,19,20,21,22年度、文化庁「文化芸術による子供育成推進事業」作品 「あらしのよるに」令和4,5年度</p>		
<p>学校等における公演実績</p>	<p>2017年5月 ミュージカル「あらしのよるに」初演 文化振興基金助成 2018年5月～7月 ミュージカル「あらしのよるに」福井県福井市、鯖江市内小学校公演 文化振興基金助成 2021年8月 ミュージカルシアター「ぐりむ♪りむりぐ♪むりぐ♪りむ」初演 ART for the future!補助金助成 2021年度 ミュージカル「あらしのよるに」文化庁子どものための文化芸術鑑賞・体験再興事業プログラム選択型、学校による提案型 2022年度 ミュージカル「あらしのよるに」文化庁子どものための文化芸術鑑賞・体験再興事業プログラム選択型、学校による提案型、文化芸術による子供育成推進事業(巡回公演事業)、日本劇団協議会主催アートキャラバン事業 2023年度 ミュージカル「あらしのよるに」文化芸術による子供育成推進事業(巡回公演事業)、日本劇団協議会主催アートキャラバン事業</p> <p>2017年～2023年度 ミュージカル「あらしのよるに」、ミュージカルシアター「ぐりむ♪りむりぐ♪むりぐ♪りむ」の他、ミュージカル「ヘンゼルとグレーテル」、「こぶとりじいさん」「手袋を買いに」、宮沢賢治の「ドリームランドにつぼん」、小泉八雲「ヘルン氏のこわいかこわくないかわからない話」、「おおきなかぶ」公演実施</p> <p>2023年度は、ミュージカル「あらしのよるに」を中心に、全国各地70カ所120ステージもの公演を行っている。</p>		
<p>特別支援学校等における公演実績</p>	<p>2008年、2009年に「ねこはしる」を本物の舞台芸術体験事業巡回公演で、岩手県一関市と北海道にて実施しました。 ミュージカル「あらしのよるに」2021年度プログラム選択型で京都府1校実施、2022年度文化芸術による子供育成推進事業(巡回公演事業)で大阪府1校実施。2023年名古屋市の小学校にて、難聴の児童にも作品の声を届けるために出演者が学校用意のマイクケーブルを装着しての公演を実施予定。</p>		
<p>参考資料の有無</p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>有</p>	
<p>※公開資料有の場合URL</p>	<p>https://drive.google.com/drive/folders/18ZAQDqzPs8P4fWHqLTbg8YGT0Q0wcvG?usp=sharing</p>		
<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>ID: PW:</p>	<p>※ご請求頂ければ、本編DVDを提出いたします。</p>	

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 総合劇団俳優館】

対象	小学生(低学年)	○			
	小学生(中学年)	○			
	小学生(高学年)	○			
	中学生	○			
企画名	ミュージカル「あらしのよるに」				
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	原作:きむらゆういち「あらしのよるに」講談社刊 脚本:三樹健 作曲:ノノヤママナコ 演出・振付:ほりみか 公演時間 70 分				
著作権、上演権利等の 許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否	該当あり		該当コンテンツ名	原作使用料、脚本使用料、音楽使用料
	該当事項がある場合	権利者名	三樹健、きむらゆういち事務所、ノノヤママナコ	許諾確認状況	使用(上演)許諾取付済
演目概要	きむらゆういち作「あらしのよるに」を原作にミュージカルに舞台化。 ヤギとオオカミが共に生きるという弱肉強食の動物の世界では、あり得ないような友情、勇気、思いやりが物語られている。あらしの夜、真っ暗な小屋の中で出会ったオオカミのガブとヤギのメイ。顔も見えず相手が誰なのかわからない。ところが妙に気が合ってピクニックに行こうなどと約束する。それを知った森じゅうの動物たちは大騒ぎ。会ったとたんヤギはオオカミにバクッと食べられてしまうぞ！しかしオオカミはヤギを食べなかった。それどころか、違っていても一緒にいると何となくホッとする大切な友だちだと思いはじめ。が、群れからは許されず追われた2匹は、互いの友情のため、生きるために吹雪の山を越え新しい天地を目指す。				
演目選択理由	「あらしのよるに」には異なる者同士が違いを乗り越え共に生きるという共生のテーマを内包している。日本人の心底には外国崇拝の反面、同一民族性というか、異人種に対する偏見、排外思想が潜んでいる。それが子どもの世界では、違っていることを理由に仲間はずれ、いじめの形となって表れていると思われる。 この作品を通じて、子どもたちが、いじめの底にある異なる者を敵視したり排除しようとするゆがみの正体を知り、勇気をもって友情を育み、融和と共生の心、多様性の認識が大切であることを考えて欲しいと思う。				
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	①児童入場時：俳優たちが衣装を着けて待機し、挨拶の声などをかけあいながら客席に誘導します。出演者との交流・一体感を準備します。 ②共演の形態について：劇中エンディングテーマ「♪気の合う友だち」の音源と楽譜を、事前に学校にお送りし、本番当日、劇中で鑑賞児童全員に客席から合唱してもらいます。また、共演する一部の児童には、終盤の「オオカミのガブがヤギのメイと友だちであった記憶を取り戻すシーン」でお花の役として登場してもらい、そのままエンディングテーマ「♪気の合う友だち」を歌い踊ってもらいます。お花役・「♪気の合う友だち」の歌と振付は、事前ワークショップにて詳しくレクチャーしますが、本番当日も共演児童のみ公演前にリハーサルを行います。				
出演者	出演者と主な役名(コスはオオカミとヤギを演ずる。) 稲吉直人 在籍34年…ガブ(オオカミ) 谷口真規 在籍16年…メイ(ヤギ) 馬場祥 経験8年…ギロ(オオカミ)、コス 今村しんすけ 在籍6年…タブ(ヤギ)、コス 今枝蛍 経験9年…ヤギの長老、コス 鈴木かえり 在籍8年…バリー(オオカミ)、おぼさんヤギ、コス 夏目みほ 在籍6年…リス、コス 菊正 在籍3年…サル、コス				
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含む	出演者: 8 名	運搬	積載量: 3 t		
スタッフ: 6 名	車長: 7 m				
合計: 14 名	台数: 1 台				

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み	無	前日仕込み所要時間		時間程度	
	到着	仕込み	上演	内休憩	撤去	退出
	8:30	8:30-12:00	13:00-14:10	0分	14:30-16:30	16時30分
※本公演時間の目安は、午後、概ね2時限分程度です。						

本公演 実施可能日数目安 ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)	6月	7月	8月	9月	10月	
	12日			12日	12日	
	11月	12月	1月	計	60日	
	6日	6日	12日			
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。					

児童・生徒の 参加可能人数	本公演	共演人数目安	15
		鑑賞人数目安	300



公演に係るビジュアルイメージ
(舞台の規模や演出がわかる写真)



※採択決定後、図面等の提出をお願いします。

【公演団体名 総合劇集団俳優館】

児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	60名(1学年程度)、当該校の希望に対応します。
ワークショップ実施形態及び内容	<p>ワークショップ講師 ミュージカル「あらしのよるに」演出家1名、出演者3名、計4名を基本メンバーとする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 講演：ミュージカルとは何か。ミュージカル「あらしのよるに」はどのように生まれたか。 体を動かしてみよう：ゲーム感覚で体をうごかし、体と心の緊張をほぐします。また空間認知のゲームも行います。 台詞を言ってみよう：簡単な一言のセリフを色んな言い方で相手に届ける練習をします。 歌ってみよう：発声練習の後、ミュージカル「あらしのよるに」の、劇中エンディングテーマ「♪気の合う友だち」を一緒に歌います。ただ歌うだけではなく、「怒りながら歌う」「笑いながら歌う」など行動や感情を「歌う」に結び付けてみる、ということを実践してもらいます。 踊ってみよう：「♪気の合う友だち」を、こちらで用意した振付で踊ってもらいます。歌いだしから後奏まで丸々一曲踊れるようになります。 共演シーンの練習：公演当日、児童が共演する場面を出演者と共に練習します。共演児童には、作品終盤の「オオカミのガブがヤギのメイと友だちであった記憶を取り戻すシーン」でお花の役として登場してもらいます。ミュージカル「あらしのよるに」では、動物以外にも、蝶・木枝・霧・雪など自然物の役もたくさん登場します。人間・動物以外にも人間が演じることで作品が作りあげられているということも、合わせて説明します。 作品とミュージカルへの理解をより深めることのできるDVDを作成し、必要に応じて教材として活用頂きます。ワークショップ前後で児童さんにご覧いただけます。 		
ワークショップのねらい	<ol style="list-style-type: none"> 講演：ミュージカル「あらしのよるに」について、作品の内容とミュージカルの魅力を周知し公演に関心と興味を持ってもらいます。 体を動かしてみよう：次のワークに向けて、体と心の緊張をほぐします。空間認知のゲームでは、「周りの状況を認識したうえで自分のアクションを起こす」必要性を知ってもらいます。 台詞を言ってみよう：簡単な台詞を練習する内に「自分ってこんな声が出るんだ」「こうやって言うと、相手にこんな印象を与えるんだ」という新たな発見が生まれます。 5.歌ってみよう,踊ってみよう：ミュージカルの表現方法である「歌」「ダンス」を体験し、よりミュージカルを身近なものに感じてもらいます。「歌やダンスは難しい」という固定概念を払拭します。 共演シーンの練習：ミュージカル・お芝居の出演者と同じ演劇的体験を共有する意図のもと、本番同様に行います。 DVD教材の活用：事前ワークショップ時のみだけでなく、学校の普通の授業内でもミュージカル・舞台芸術について扱ってもらえるような工夫です。観劇体験がより身近なものになることを狙いとしています。 		
その他ワークショップに関する特記事項等	<p>共演シーンで共演児童に使ってもらう「お花」を、事前に学校と相談の上、共演児童自身に作ってもらいます。</p>		

本事業への申請理由

【公演団体名

総合劇集団俳優館

】

①本事業に対する取り組み姿勢

ただ子どもたちに作品を見てもらうだけでなく、物語への理解・興味を駆り立てられるようなプログラムを用意し、子どもたちがより文化芸術に親しみを感じられる濃密な時間を作りだしたいと考えています。

ミュージカル「あらしのよるに」は俳優館が自信をもってお届けしている作品で、実施校でも大変ご好評をいただいております。俳優館が主に活動している東海三県以外の子どもたちにも、ミュージカル「あらしのよるに」をもっと届けられたらと常々考えています。

また、大きな劇場のない地域の児童生徒は、演劇を観る機会があっても「ミュージカル」を観る機会はなかなか得られない印象があります。この機会に、ぜひ「ミュージカル」を体験し、喜び、悲しみ、怒りなどの感情が歌やダンスとなる表現を目の当たりにして欲しいと思います。事前ワークショップ時には、ワークショップに参加する鑑賞児童自身に、そのようなミュージカルの要素の強い演劇体験をしてもらいます。

本事業に対する
取り組み姿勢、および
効果的かつ円滑に実施
するための工夫

②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫

一番の目的を「子どもたちが文化芸術をより親しむことのできる体験の提供」とし、その趣旨を出演者・スタッフに共有したうえで事業に取り組みます。取り組みの効果を最大限に引き上げられるよう、制作と学校とのやり取りは細やかに行います。特に、学校との打ち合わせにおいては、メールや書面データの共有を中心とし、できる限り、やりとりの内容を後から見直せるようにすることで、認識の違いなどを減らします。

経理担当者と旅行行程作成の担当者(制作担当)と、学校との打ち合わせ担当が常に細やかな事項も連携して共有し合い、事務処理をより円滑に行えるようにします。できる限り同一地域での公演は連続するように日程をくみ、時間的・経済的効率化を目指します。